

そよかぜ 地域密着型サービス自己評価票（網掛け部分は外部評価も行う調査項目） 取り組んでいきたい項目には「1」が入っています。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
			理念に基づく運営 1～5 (自己 1～24・外部 1～14)	自己評価24項目・外部評価14項目	7	
理念に基づく運営	1		理念の共有(自己 1～3・外部 1～2)	自己評価3項目・外部評価2項目	1	
		1 外部評価1	地域密着型サービスとしての理念【外部評価】 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	開設当初から変わっていないが、「地域とのふれあいを大切に地域にとけこむ」の理念。地域との交流に努めている。	1	開設当初からの理念の為、見直しの必要があると思う。
		2 外部評価2	理念の共有と日々の取り組み【外部評価】 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念の提示はもちろんのこと、誰でも目に入る工夫をしている。朝礼で唱和し、理念に基づいてケア内容、ケアプランの項目について研修等を開催している	0	
		3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	家族会議（年2回）又、地域運営推進会議のテーマを設け、理念について説明し理解を頂いている。・資料（レジュメ）の配布も行なっている。	0	
		2	2 地域との支え合い(自己 4～6・外部 3)	自己評価3項目・外部評価1項目	1	
		4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	地域推進会議で顔見知りになり、地域の公民館と情報交換している。・最近はお勤時道路上で挨拶できるようになり、又、声をかけていただいています。	0	
	5 外部評価3	地域とのつきあい【外部評価・重点】 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域自治会主催の行事（夏祭り、運動会、文化祭）へのお誘いがあり、参加している。・地域清掃（毎月第4日曜日に参加し、公園清掃をしている。・地域ボランティアの受け入れをしている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	2 支地域 え合 といの	6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	民生委員さんを通し、地域の高齢者の状況を交換している。・施設を開錠し、気軽に立ち寄れる様な施設作りを目指している。・話し合いができるまではいたっていない	1	地域の高齢者に役立てることは何か話し合いの場を設けたい
		3	理念を実践するための制度の理解と活用(自己 7~11・外部 4~7)	自己評価5項目・外部評価4項目	1	
	3 理念を 実践 する ため の 制 度 の 理 解 と 活 用	7 外部 評価 4	評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	・評価の結果を踏まえて改善に向けた取組みをしている。・研修会(内部)でテーマを儲け意見交換をしている。・外出を支援し、地域交流に参加できる体制ができています。・地域との受け入れ体制もできています。	0	
		8 外部 評価 5	運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	3ヵ月・4ヵ月に一回の開催をし、現在まで5回の会議を実施している。・会議では地域、民生委員、地域包括支援センターの参加を頂き、活発な意見交換ができています。	0	
		9 外部 評価 6	市町村との連携【外部評価・重点】 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域包括支援センターからの参加を頂き、指導していただいている。・地域包括支援センターからの情報も頂き、意見交換をしている。	1	行政担当の参加要請をしていきたい
		10 外部 評価 7	権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	・研修会(内部)で年間予定を設け、勉強会を開催している。・契約時にパンフレットを配布し、家族に説明している。・職員各自に資料を配布し、日頃から関心を持てるように努めている。	0	
		11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止マニュアル冊子に基づいた勉強会を開催し、指導している。・各ユニットに統一した資料を配布し、冊子として設置し、いつでも目が通せる状態にしてある。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
		4	理念を実践するための体制(自己 12~18・外部 8~10)	自己評価7項目・外部評価3項目	0	
理念に基づく運営	理念を 実践する ための 体制	12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	・契約時に必要契約書の内容説明している・家族からの意見を聞き、計画書に反映している・十分な説明をしていると判断をしている。	0	
		13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・苦情処理委員会を儲け、利用者からの意見を聞き、運営に反映できるように努めている。	0	
		14	家族等への報告【外部評価・重点】 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	・面会時に様子を報告し、家族的雰囲気でお話をされている。・生活の様子を「たより」でお知らせしている。・大変があれば必ず連絡し、協力を得ている。	0	
		15	運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の面会時に様子をお話し、意見、要望を聞いている。又、意見箱を用意し、その都度話し合い、結果について報告している。苦情処理委員会を設けている。	0	
		16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月2回運営推進会議が開催され、各担当からの意見報告し、反映させている	0	
		17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	状況の変化に対応すべく、緊急連絡網を配布し、職員の確保ができる体制ができている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に 基づく 運営	4	18	職員の異動等による影響への配慮【外部評価】 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	・人事異動も実施し、定着化を目指している(年1回)・各ユニット間で交流職場研修を実施し、どのユニットでも勤務できるように利用者の方の誰でも馴染みになれるように努めている	0	
	5	人材の育成と支援(自己 19~24・外部 11~14)		自己評価6項目・外部評価4項目	4	
	5	19	人権の尊重【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	・職員の採用に関しては、年齢や性別等による制限はしていない。・利用者と寄り添い、話の聞き役に徹してもらっている。・職員の個性からいいところが引き出せるような対応をしている。	0	
		20	人権教育・啓発活動【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	・内部研修時に必要な人件について勉強している	1	職員の人材意識を喚起する取り組みが課題である
		21	職員を育てる取り組み【外部評価】 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・内部研修については半年予定を決め、毎月実施している。・外部研修案内のパンフレットを掲示し各ユニット間で調整し出席できる体制作りができています。	1	意欲的に外部研修への参加するムード作りが必要
		22	同業者との交流を通じた向上【外部評価】 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	・ユニット内では、交換交流会等が実施されている。・内部研修会に同業の方の出席があり、意見交換をしている。	1	全体としての同業者との交流の場を設けることが課題
		23	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	・各ユニット間で交流し、悩みを言い合える場も設けている。・個人個人の趣味を活かした行動を行なうことができるように休日希望を聞いて調整できるようにしている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 と人材 支援の 育成	24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	出来るだけ本人の実績・勤怠を把握している	1	向上心がもてるようなムード作りが大事である
安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2(自己 25～34・外部 15～16)				自己評価10項目・外部評価2項目	0	
安心と信頼 に向けた関係作り と支援	1 相談から 利用に至る までの関係 づくりとそ の対応	1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己 25～28・外部 15)		自己評価4項目・外部評価1項目	0	
		25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	日々の会話の中から困っていることや不安を聞き出される。・カンファレンス等の中で意見交換できる機会を設けている	0	
		26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	・契約前より、見学され、ショート利用希望の家族には利用していただき、安心して生活できることを確認していただく場合もある。・すべての不安を聞き出し、一緒になって取り除いていく	0	
		27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人の希望されること、家族の希望されることにサービス内容を見極めた対応に努力している	0	
		28 外部 評価 15	馴染みながらのサービス利用【外部評価】 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	・入居前に数回、面談、見学され、顔なじみの関係作りをしている。・ショートの受け入れをしている。・入居後は短期的援助計画を作成し、数週間後にサービス内容をカンファレンスにて意見交換し作成している。	0	
	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価 29～34・外部評価 16)		自己評価6項目・外部評価1項目	0		
係り2 継続 これ までの 関係 づく り の 支 援	29 外部 評価 16	本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	・現在と昔の生活の変わり方をお話ししたり、昔の物に対する価値観、又礼儀作法などを教わることができている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	・家族と一本化した情報を共有し、親として、子として一緒に支えあう関係ができている。	0	
		31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	・入居時の生活暦を参考にしながら、家族にも歩んでこられた一緒になって知っていただいている。 ・今までの関係は継続していただくように協力をお願いしている。	0	家族自体が本人様の過去を知らないことが増えてきている。
		32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・本人様が居住された地域の方の面会がある。 ・親友の方との面会も多く、親友の方々へも協力をお願いすることがある。	0	友人親類の方の面会については家族に確認の後、面会を許可している
		33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	・テーブル席を考えて配置し、対話が気の合う方と出来るようにしている。 ・レクリエーションやゲームを取り入れ、利用者全員で楽しんでいただくように努めている	0	利用者の性格等を見極めることが大事である。
		34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	終了後も地域の病院受診時に家族と会う機会があり、気軽に声かけていただいている・周辺地域の方で立ち寄られ、気軽に対話される方もいる	0	終了後も行事等の案内状を郵送したりすることが課題である
		その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己 35～51・外部 17～22)				自己評価 17項目・外部評価 6項目
1 の 一 把 人 握 ひ と り	1 一人ひとりの把握(自己 35～37・外部 17)			自己評価 3項目・外部評価 1項目	0	
	35 外部 評価 17	思いや意向の把握【外部評価】 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・家族の面会時に家族の希望や要望を聞き、日常生活の中に反映できるように努めている・他利用者からの情報収集に努めている	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい 内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1 一人ひとりの把握	36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・契約時に家族より本人様の生活歴を記入していただいている。・本人様の今までの暮らし方を重視し、一方的にならないように努めている	0	
		37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	・役割を持って頂き、掃除、食器洗い、洗濯物片付け等をその利用者に向けたやり方を強制することなく、自主的に出来るように努めている	0	
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己 38~40・外部 18~19)	自己評価3項目・外部評価2項目	0		
	2 介護計画の作成と見直し 本人がより良く暮らし続けるための	38 外部評価18	チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	・家族の面会時に声かけし連絡事項、たより等を通じて希望要望を出していただいている。・カンファレンスの中で毎月、協議を行い、介護計画のないようについでの見直しもしている	0	
		39 外部評価19	現状に即した介護計画の見直し【外部評価】 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	・3ヵ月毎のモニタリング、身体状況などによる見直しを行い、現状に即した介護計画を作成している。・月に一度の担当者会議を開催し、スタッフ間での協議を徹底確認を実施している。・必要ときには計画内容の修正、訂正をおこなっている	0	
		40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・サービス担当者会議録を作成し、結果や工夫を個別に記入している。・日々のミニカンファレンスでの情報を共有しながら見直しに活かしている	0	
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己 41・外部 20)	自己評価1項目・外部評価1項目	0		
	3 柔軟な支援	41 外部評価20	事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	・今までの病院の受診対応、家族と連携し、体変時の連絡体制、支援を行なっている。・施設内での点滴治療等についても、その時々々に沿った支援をしている	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己 42~51・外部 21~22)	自己評価10項目・外部評価2項目	0	
		42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	・地域運営推進会議の場で状況を報告し、ボランティアの受け入れ等を積極的に実施している。・特に消防との連携については重視している。	0	
	4		本人がより良く暮らし続けるためのケアマネジメント			
		43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	・利用者のケア対応の度合いを見極め、家族と相談しながら他ケアマネージャーと相談し、他のサービス利用を支援できる体制がある	0	
		44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターの協力、指導を受け、必要に応じて協働している	0	
		45	かかりつけ医の受診支援【外部評価】 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	施設協力医療機関はあるも今までのかかりつけ医への受診は家族対応で可能な限りお願いしている	0	
		46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	・専門医、家族と相談しながら本人の処方も含め受診している。・家族と協力し、専門医受診を支援している。	0	
	47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	・各ユニットごとに看護職員が配置され、馴染みの関係ができている・日常の健康管理には万全を期し緊急時は早期な対応ができる体制ある	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4	48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	・看護職員が中心となり、病院担当医との情報交換があり医療機関との連携が図られている	0	
		49 外部 評価 22	重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	・重度化した場合は契約時点で当施設の医療方針に同意していただいている・終末期の対応については家族に意向を重視しているものの、まだまだ課題が多い・研修等で終末期対応について指導を行なっている	0	
		50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	・終末期の利用者には医療機関担当医と連携し、日々連携している。・変化に備えて検討し、職員間で共有している	0	
		51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	情報交換を行い、本人へのダメージを最小限にすることとしている	0	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1～2 (自己 52～89・外部 23～33)				自己評価 3 8 項目・外部評価 1 1 項目	3	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1	その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己 52～81・外部 23～30)		自己評価 3 0 項目・外部評価 9 項目	3	
		(1) 一人ひとり尊重(自己 52～54・外部 23～24)	自己評価 3 項目・外部評価 2 項目	0		
		52 外部 評価 23	プライバシーの確保の徹底【外部評価】 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者の視線に合わせた会話、耳元での声かけ、強制的ない言葉遣いなど、利用者を尊重した対応をしている	0	
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	・強制することなく、自己決定できる様に本人の意志を重視している・一方的に指示することはない	0			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでほしい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部評価 24	日々のその人らしい暮らし【外部評価】 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・施設内での生活のながれはあるものの、利用者の状態に配慮しながら、居室で過ごしたり好きな場所で過ごしたり利用者の気持ちを尊重している	0	
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己 55～60・外部 25～26)	自己評価6項目・外部評価2項目	0	
		55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	・女性利用者が多いことから本人のお気に入り衣服を着用していただいている。・地域の理容、美容室を利用し、定期的にお連れしている・毎月訪問理美容が来られ、家族の希望、本人の希望により利用していただいている	0	
		56 外部評価 25	食事を楽しむことのできる支援【外部評価】 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	・職員は利用者と一緒に食事を取り、配膳時に一緒に盛り付けしたり、楽しく食事できるようにしている。・食器洗い、ふき取り、テーブル拭きなど利用者に役割を持っていただいている	0	
		57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	・本人の体調を考え、飲酒、喫煙者はいない・家族からの差し入れもあり、管理した上で摂取していただいている・賞味期限等には万全を期し期限切れのものについては同意を得て処分している	0	
		58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	・排泄の失敗をとがめることなく、一人一人のパターンを読み取り、トイレ誘導することに重視している。・夜間帯はリハビリパンツを使用されているが、日勤体は本人のパターンを読み取り、トイレ誘導、介助している	0	
		59 外部評価 26	入浴を楽しむことができる支援【外部評価】 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	・本人の体調を考慮しながら、午前中に入浴していただくときもあるが、気候を考え、午後からの利用者が多い。・排泄等を見ながら毎日入浴していただく利用者もいる・週に2～3回を基本としている	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	・居室で過ごしていただく時間が多く、TVを観たりしてベッドに休まれる。・一日のリズム流れがあり、一緒に体操したり、歌ったり、ゲームをしたりと楽しく過ごされている	0	
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己 61~66・外部 27~28)	自己評価6項目・外部評価2項目	1	
		61 外部評価 27	役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	・居室の掃除を一緒にしたり、衣類の片づけをしたり、ホール内をコロコロを利用して掃除、食器洗い、ふき取り、洗濯物の片付けと利用者の出来ることをしていただいている	0	
		62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	一緒に近郊のスーパーへ買物へは行くが、本人が財布を持って自分で支払われることはない。・商品を選ばれることぐらいで、金銭管理は全て第三者である	1	これからの課題であるが、なかなか難しい問題である
		63 外部評価 28	日常的な外出支援【外部評価】 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	施設周辺の散歩、買物等へ一緒にお誘いしている。・天候を見ながら、ドライブ、予定を立て、できるだけ全利用者が一緒に行けるようにしている	0	
		64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	・家族の協力により、毎週自宅へ外出され、外食される方もある・入居後、初めて自宅へ帰られた方もあり、家族の不安を取り除いたケースもある。	0	
		65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・公衆電話を使用し、自宅に電話される方もある。但し、本人の希望があれば家族の協力を得ている	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	・家族の面会、知人の面会等もあり、面会時は自宅で過ごしていただくように工夫している	0		
		(4) 安心と安全を支える支援(自己 67~74・外部 29~30)			自己評価 8項目・外部評価 2項目	1	
		67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	・研修(内部)のテーマに取り上げ、正しく理解されている。・マニュアルを作成し、どこでもだれでも見れるようにしている。・家族にも契約時に細部にわたって説明している	0		
		68	鍵をかけないケアの実践【外部評価】 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	・帰宅願望が強い利用者がある場合のみ様子を観ながら施錠することがある。・見守りしながら声かけし、本人との対話、理解に取り組んでいる。	0		
		69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	・常に見守り、様子を伺いながら、声かけし、所在を確認している。・人数の目視、チェックを行なうようにしている・トイレ覚醒時にはトイレ入り口にて待ち、安全に配慮している	0		
		70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	状態をみながら衣類の一部を預かる時がある・リハビリパンツ、パットについても本人の度合いに応じてすべて預かり、家族に同意していただいている。	0		
		71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	・各種マニュアルを作成している。・研修の中で予定を組み、指導している・職員間で意見交換し、「ひやりはっと」の対応策についても活発に意見が出されている	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	・マニュアルを作成している。・研修の場で指導され、初期対応の訓練がカリキュラム化されている	0	
		73 外部評価 30	災害対策【外部評価】 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	・年に2回の火災訓練を実施・消防の指導にて非難誘導、又初期消火の訓練を実施している・外部研修にも参加し、AEDの使用方法についても訓練されている	1	AEDの設置がない
		74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	家族等への説明をし、理解を頂いている	0	
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己 75~81・外部 31)	自己評価7項目・外部評価1項目	1	
		75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	ひとりひとりを様子観察し、変化を見極められるよう、職員間で日々の様子を交換している。・情報の共有は徹底されており、申し送りの中で細部にわたって報告している	0	
		76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・服薬管理表で管理されている・症状の変化を見極め、担当医に報告し指示を仰いでいる	1	薬の目的、副作用、用法、容量についての理解が出来ていない部分が今後のスタッフ間の指導が必要と思われる
		77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排便日数等をチェック表に記載し、一人一人の処方により服薬されている・水分摂取を促し、食事にも気をつけている	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	・食後の口腔ケア、義歯の洗浄をしている。・入眠時は義歯を外し、ポリドント等にて消毒し、管理している・訪問歯科医を利用し、義歯の調整、痛みの場所の治療を行なっている	0		
		79	栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	厨房にて調理され、栄養士により献立表を作成し、利用者ごとの摂取量の記録、水分摂取量の把握をしている・状態に応じた食形態の支援をしている	0		
		80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	・感染症予防対策マニュアルを作成、研修のカリキュラムに数回の指導対策を講じている・手洗いうがいの励行、外出時は必ず入り口にて励行している・室内の清掃でも手摺、ノブ等トイレ内の清掃には充分に気をつけている	0		
		81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	・食材については全て外注委託され、管理されている。・ユニット内使用の食器は夜間体にハイター使用にて衛生管理が行なわれている。・流し台については、配管洗浄を実施している。井水使用、貯水槽、市水槽は定期的に、検査、洗浄がある	0		
	2	その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)~(2) (自己 82~89・外部 32~33)			自己評価 8 項目・外部評価 2 項目	0	
	2	(1) 居心地のよい環境づくり(自己 82~86・外部 32~33)			自己評価 5 項目・外部評価 2 項目	0	
	2 生活環境づくり その人らしい暮らしを支える	82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	建物が道路に沿っており、緑がないのが問題である・出入りは自由であるが、建物のつくりが工夫されないのが課題	0		
		83	居心地のよい共用空間づくり【外部評価】 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ベランダには鉢植えが季節ごとに植え替えられている。・入り口には手作りの人形を置き、きれいに飾っている・畳のスペースがあり、明るくなっている。・心和まれる空間作りをしている・季節ごとの飾りを一緒に手作りしている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファ席があり、TVを見ながら利用者同士で対話できるようにしてある。・畳のスペースで過ごせるようにテーブルを置き、足を伸ばしていただいている	0		
		85 外部評価33	居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室内には、テレビ、写真、手作りのカレンダーが掲示され、好みのものや使い慣れた物が持ち込まれている。・利用者が使い慣れたものを多く持ちこまれ、環境も整備している	0		
		86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	ホーム内には明るく換気に常に注意し、居室内についても外気を取り入れ、一定温度管理している	0		
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己 87~89)			自己評価3項目	0	
		87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	床はマットを使用し、歩き易く、転倒時の負担を軽減されるようにしている・トイレ、ホール内の移動時は手摺を使用していただくように環境整備に努めている	0		
		88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	杖歩行、車イス使用、歩行器使用の方でも安全に移動できるように工夫されている	0		
89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	ベランダ使用に制限があり、畳スペースから花が見れるように工夫している	0				

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいき きたい項目	取り組んでいき たい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当 番号	
サービスの 成果に 関する 項目	90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	1		
	91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	1		
	92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	2		
	98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	3		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目		99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	2	
		100	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	2	
		101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2/3くらいと 家族等の1/3くらいと ほとんどできていない	1	
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当番号	

サービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。